

(平成30年刊行)

ひらね119

(消防年報 概要版)



枚方寝屋川消防組合



忘れてない？ サイフにスマホに 火の確認

【平成30年度全国統一防火標語】

「ひらね119」は、火災、救急、救助の活動をはじめとする消防の仕事を市民の皆さんにご理解いただくために、消防年報のダイジェスト版として編集したものです。本書が消防行政をご理解いただく一助になれば幸いです。

※なお、日付のないデータは、平成29年12月31日現在のものです。

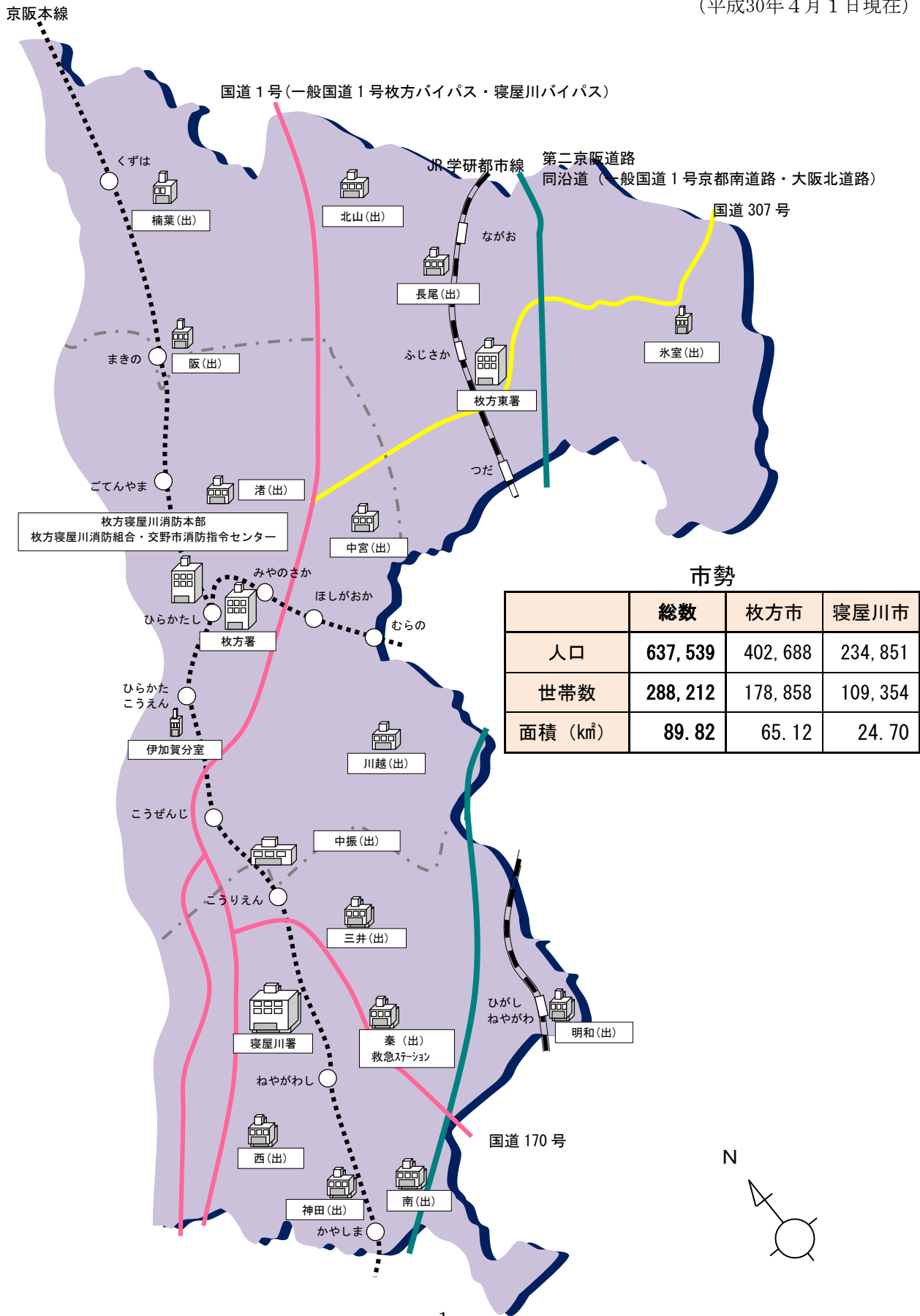
目

次

1 管内図及び市勢	1	12 警 備	13
2 組 織	2	(1) 消防隊の活動状況	
3 消防歳出予算	3	(2) 消防水利	
4 消防庁舎	4	13 火災概況	15
5 平成29年中の主な活動記録 . . .	5	(1) 火災概況	
6 消防職員	6	(2) 月別火災件数	
7 消防車両	7	(3) 死傷者・損害状況	
8 防火対象物	8	(4) 過去10年間の火災発生状況	
(1) 防火対象物		(5) 出火原因	
(2) 消防同意		14 救 急	18
(3) 住宅防火診断		(1) 救急概況	
9 危険物	10	(2) 救急搬送状況	
10 査 察	11	(3) 救命率の向上	
11 119番等通報	12	(4) 「救急安心センターおおさか」	
(1) 119番等通報受信状況		(5) ドクターカー事業	
(2) 緊急通報システム		15 救 助	21
		16 消防団の概況	22

1 管内図及び市勢

(平成30年4月1日現在)



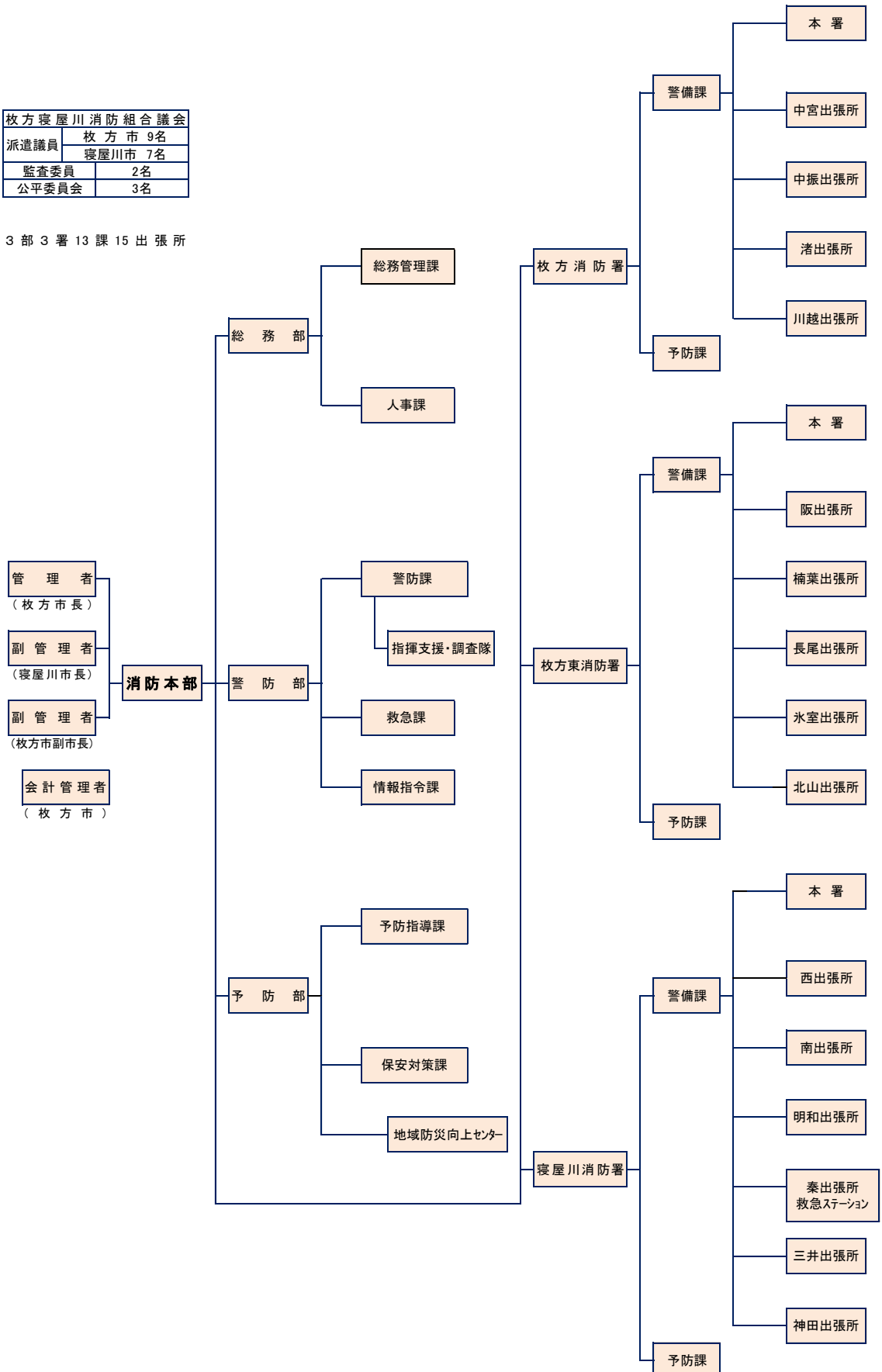
2 組

織

(平成 30 年 4 月 1 日現在)

枚方寝屋川消防組合議会	
派遣議員	枚 方 市 9名 寝屋川市 7名
監査委員	2名
公平委員会	3名

3 部 3 署 13 課 15 出張所



3 消 防 歳 出 予 算

平成 30 年度当初予算 75 億 4,009 万 9 千円

第 4 次将来構想計画に掲げる「安全で安心して暮らせるまち」を目指し、行財政改革を基本とした広い視野と柔軟な対応で「選択と集中」を図り、職員一人ひとりが経営感覚とコスト意識を持ち、効率的かつ効果的な予算執行が可能となるよう、最適配分に配慮した歳出予算となっています。

(主な事業)

・ 400MHz 帯署活系携帯無線の整備

大規模災害時における通信体制を整備し、常備消防と消防団との連携を強化することで、より高い消防防災力を確保することを目的とします。

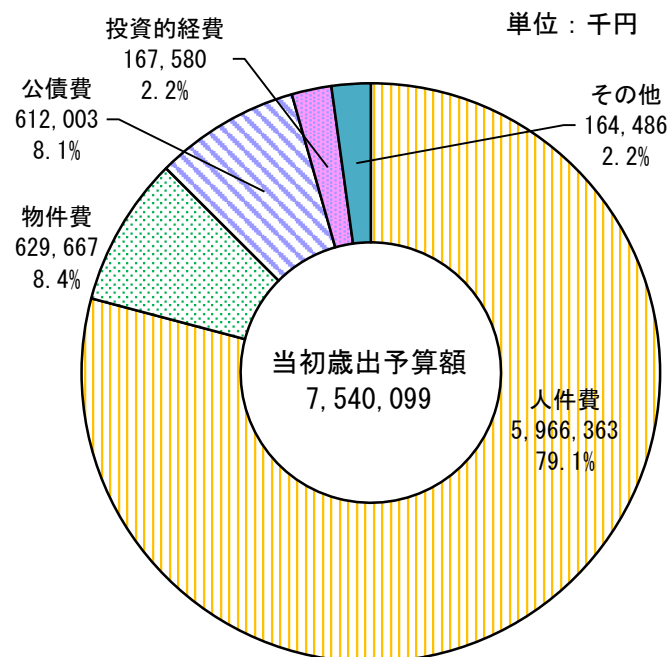
・ 119 番通報の多言語通訳サービス

外国人からの 119 番通報や外国人のいる救急現場において、電話通訳センターを介した多言語通訳サービスを行うことで、通報者や傷病者に円滑に対応することを目的とします。

・ 車両整備

ミニタンク車、救急車、調査車の更新

歳出予算性質別比率



過去 5 年間の消防組合歳出予算・決算額

区 分 年 度		歳出予算・決算額 (単位：千円)	左記の財源内訳 (単位：千円)			人口 1 人当たりの 消防費 (単位：円) (当初予算で算出) (毎年 4 月 1 日の人口)
			枚方市負担金	寝屋川市負担金	その他収入	
平成 26 年度	当 初	9,767,488	4,196,891	2,826,511	2,744,086	15,060
	決 算	9,236,972	4,037,197	2,713,822	2,485,953	
平成 27 年度	当 初	8,065,736	4,338,466	2,913,885	813,385	12,479
	決 算	8,061,422	4,219,407	2,831,117	1,010,898	
平成 28 年度	当 初	7,695,481	4,376,522	2,805,808	513,151	11,958
	決 算	7,394,572	4,197,205	2,691,462	505,904	
平成 29 年度	当 初	7,980,465	4,628,658	2,988,455	363,352	12,455
	決 算	—	—	—	—	
平成 30 年度	当 初	7,540,099	4,411,907	2,858,108	270,084	11,827

4 消 防 庁 舎

(平成 30 年 4 月 1 日現在)

区分 署所別	所在地（電話）	敷地面積(㎡)	構造・階数	建築面積 (㎡)	延面積 (㎡)	建築年月日
消防本部 枚方寝屋川消防組合 ・交野市消防指令 センター	〒573-1191 枚方市新町 1 丁目 7 番 11 号 Tel.072-852-9903（以下市外局番同じ） FAX852-9948（4 階）、852-9925（2 階）	1343.1	耐火造・地上 5 階	735.2	3038.6	平 28.1.22
伊加賀分室	〒573-0056 枚方市桜町 3 番 40 号	365.8	耐火造・地上 2 階	216.1	351.7	昭 56.12.14
枚方消防署	〒573-0027 枚方市大垣内町 2 丁目 10 番 22 号 Tel.072-852-9933、FAX852-9927	2099.5 別棟 ガレージ兼倉庫	耐火造・地上 5 階 耐火造・地上 2 階	587.0 235.6	2468.9 365.9	昭 46.1.18 昭 58.4.15
中宮出張所	〒573-0005 枚方市池之宮 3 丁目 4 番 28 号 Tel.852-9832、FAX852-9834	359.7	耐火造・地上 2 階	224.1	479.97	平 29.3.15
中振出張所	〒573-0094 枚方市南中振 1 丁目 16 番 30 号 Tel.852-9826、FAX852-9828	727.2	耐火造・地上 4 階・ 地下 1 階	420.1	1250.5	平 2.6.26
渚出張所	〒573-1175 枚方市上野 3 丁目 8 番 2 号 Tel.852-9829、FAX852-9831	700.0	耐火造・地上 2 階	418.7	791.3	平 6.3.1
川越出張所	〒573-0083 枚方市茄子作北町 7 番 22 号 Tel.852-9820、FAX852-9822	477.2	耐火造・地上 2 階	197.3	388.3	昭 53.4.1
枚方東消防署	〒573-0121 枚方市津田北町 2 丁目 23 番 3 号 Tel.852-9999、FAX852-9929	3255.6 主訓練塔 補助訓練塔 プールポンプ室	耐火造・地上 4 階 耐火造・地上 8 階 準耐火造・地上 5 階 耐火造・地上 1 階	636.9 36.4 26.1 16.1	1991.9 270.4 130.5 16.1	昭 61.4.1 昭 62.4.1 昭 62.4.1 昭 62.4.1
阪出張所	〒573-1144 枚方市牧野本町 1 丁目 10 番 34 号 Tel.852-9846、FAX852-9848	410.0	耐火造・地上 2 階	207.1	405.1	昭 54.6.1
楠葉出張所	〒573-1118 枚方市楠葉並木 2 丁目 29 番 1 号 Tel.852-9849、FAX852-9851	支所の一部使用 (501.8)	耐火造・地上 2 階	290.3	497.9	昭 50.5.6
長尾出張所	〒573-0163 枚方市長尾元町 2 丁目 13 番 6 号 Tel.852-9843、FAX852-9845	531.3	耐火造・地上 2 階	202.2	421.9	昭 56.10.24
氷室出張所	〒573-0113 枚方市宗谷 1 丁目 14 番 1 号 Tel.852-9840、FAX852-9842	474.0	耐火造・地上 2 階	253.5	457.2	昭 58.1.28
北山出張所	〒573-0171 枚方市北山 1 丁目 67 番 15 号 Tel.852-9824、FAX852-9825	1001.6	耐火造・地上 2 階	540.1	826.6	平 13.4.1
寝屋川消防署	〒572-0039 寝屋川市池田 2 丁目 11 番 73 号 Tel.852-9966、FAX852-9928	3260.9 車庫	耐火造・地上 4 階 耐火造・地上 1 階	835.9 34.02	2352.6 34.02	昭 46.1.18 平 21.3.24
西出張所	〒572-0063 寝屋川市春日町 20 番 22 号 Tel.852-9860、FAX852-9862	306.6	耐火造・地上 2 階	170.6	346.9	昭 56.5.1
南出張所	〒572-0823 寝屋川市下木田町 16 番 17 号 Tel.852-9866、FAX852-9868	421.2	耐火造・地上 2 階	235.1	426.6	昭 54.7.2
明和出張所	〒572-0862 寝屋川市打上宮前町 2 番 3 号 Tel.852-9869、FAX852-9871	519.0	耐火造・地上 4 階	295.5	789.1	平 9.3.22
秦出張所 救急ステーション	〒572-0848 寝屋川市秦町 2 番 5 号 Tel.852-9875、FAX852-9877	716.3	準耐火造・地上 1 階	239.2	237.5	平 25.4.1
三井出張所	〒572-0019 寝屋川市三井南町 25 番 2 号 Tel.852-9872、FAX852-9874	683.5	耐火造・地上 2 階	294.0	444.0	昭 50.5.23
神田出張所	〒572-0045 寝屋川市東神田町 22 番 6 号 Tel.852-9863、FAX852-9865	555.0	耐火造・地上 2 階	238.1	425.7	昭 52.6.1

5 平成29年中の主な活動記録

月 日	内 容	備 考
1 月 8 日	消防出初式	枚方市三矢 淀川河川公園
1 月 15 日～21 日	防災とボランティア週間	
1 月 26 日	文化財防火デー	
2 月 22 日	第 1 回消防組合議員全員協議会	消防本部
2 月 23 日	定期監査（情報指令課、枚方本署、南出張所）	
3 月 1 日～7 日	春季火災予防運動	
3 月 7 日	消防記念日	
3 月 30 日	第 1 回消防組合議会定例会	消防本部
4 月 13 日	第 152 回大阪府下消防長会総会	ヴィアーレ大阪
4 月 28 日	第 64 回全国消防長会近畿支部総会	ホテルクラウンパレス神戸
5 月 10 日	全国消防長会監査	東京都
5 月 24 日	第 69 回全国消防長会総会	名古屋市
6 月 4 日～10 日	危険物安全週間	
6 月 8 日	第 2 回消防組合議会定例会	消防本部
6 月 9 日	大阪府危険物安全大会	KKR HOTEL OSAKA
6 月 27 日	枚方市寝屋川市防火協会連絡協議会総会	消防本部
7 月 7 日	消防救助技術近畿地区指導会に伴う訓練披露会（陸上の部）	寝屋川消防署
7 月 8 日	第 32 回大阪の消防大賞	大阪国際交流センター
7 月 11 日	消防救助技術近畿地区指導会に伴う訓練披露会（水上の部）	枚方東消防署
7 月 13 日	消防組合議会臨時会、第 2 回消防組合議員全員協議会	消防本部
7 月 22 日	消防救助技術近畿地区指導会	兵庫県広域防災センター
7 月 28 日	枚方寝屋川消防組合防火委員会総会	消防本部
8 月 22 日	全国優良消防職員表彰式	仙台市
8 月 23 日	第 46 回全国消防救助技術大会	仙台市
9 月 3 日	第 61 回大阪府消防大会・消防操法訓練大会	大阪府立消防学校
9 月 28 日	警防技術指導会に伴う本部大会	枚方東消防署
10 月 19 日	第 66 回全国消防長会危険物委員会	熊本県人吉市
10 月 23 日	第 3 回消防組合議員全員協議会	消防本部
10 月 26 日	全国消防長会役員会	さいたま市
11 月 1 日	全国消防長会消防長研修会	京都市
11 月 2 日	消防殉職者慰霊祭	大阪府立消防学校
11 月 4 日、5 日	平成 29 年度近畿府県合同防災訓練 緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練	大阪市・堺市
11 月 9 日～15 日	秋季火災予防運動	
11 月 28 日	第 5 回大阪府下警防技術指導会	大阪市消防局高度専門教育センター
12 月 1 日～19 日	歳末警戒	
12 月 18 日	第 153 回大阪府下消防長会臨時総会	OMMビル
12 月 20 日～31 日	歳末特別警戒	
12 月 26 日	第 3 回消防組合議会定例会	消防本部
12 月 28 日	管理者訓示	消防本部

6 消 防 職 員

(平成30年4月1日現在)

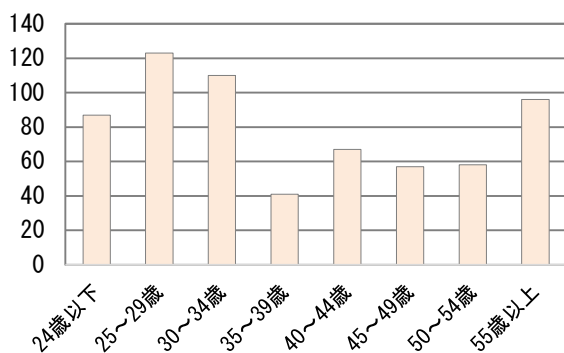
近年、消防を取り巻く環境は著しく変化し、市民の防災や安全に対するニーズもますます大きくなってきています。

我々、消防職員は、防災の担い手として一人ひとりが実務に精通し、幅広い知識と高度な技術、そして高い識見を持って、市民の負託に応えるために日夜、火災防ぎよ、救急、救助、予防、総務等の消防業務に取り組んでいます。

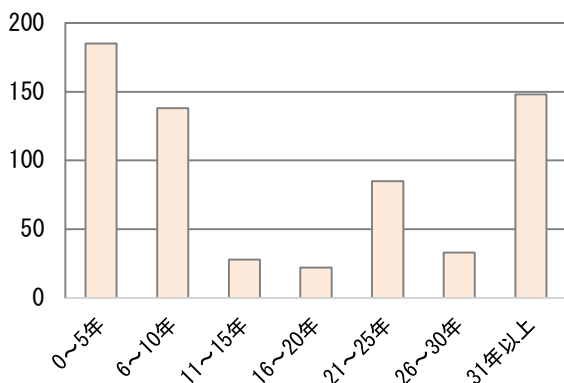
階級別職員数

総 数	消 防 吏 員									吏員以外 の職員	
	小 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	小 計	事 務 員
641	639	1	9	35	91	144	172	3	184	2	2

年齢別職員数



勤続年数別職員数



所属区分別職員数

所 属 区 分				人数
総 数				641
消 防 本 部	消防長			1
	消防次長			1
	総務部	部長		1
		参事		1
		総務管理課		8
		人事課		7
		派遣等		27
		警防部	部長	
	参事		1	
	次長		2	
	警防課		日勤	5
			交替制	21
	救急課		3	
	情 指 令 報 課		日勤	3
			交替制	26
	予防部	部長		1
		次長		3
		予防指導課		6
		保安対策課		6
		地域防災向上センター		0
	小計			124
枚 方 消 防 署	本署	日勤	14	
		交替制	46	
	中宮出張所		14	
	中振出張所		24	
	渚出張所		27	
	川越出張所		24	
	小計		149	
枚 方 東 消 防 署	本署	日勤	14	
		交替制	48	
	阪出張所		23	
	楠葉出張所		27	
	長尾出張所		23	
	氷室出張所		15	
	北山出張所		22	
小計		172		
寝 屋 川 消 防 署	本署	日勤	15	
		交替制	54	
	西出張所		22	
	南出張所		24	
	明和出張所		22	
	秦出張所救急ステーション		9	
	三井出張所		27	
	神田出張所		23	
小計		196		
勤務形態別		毎日勤務	120	
		交替制勤務	521	

※ 再任用職員を除く。

7 消 防 車 両

(平成 30 年 4 月 1 日現在)

	總 計	消 防 本 部	伊 加 賀 分 室	枚 方 消 防 署	中 宮 出 張 所	中 振 出 張 所	渚 出 張 所	川 越 出 張 所	枚 方 東 消 防 署	阪 出 張 所	楠 葉 出 張 所	長 尾 出 張 所	氷 室 出 張 所	北 山 出 張 所	寢 屋 川 消 防 署	西 出 張 所	南 出 張 所	明 和 出 張 所	救 急 ス テ ー シ ョ ン	秦 出 張 所	三 井 出 張 所	神 田 出 張 所
總 計	113	24	0	12	2	3	6	3	13	3	4	3	3	4	16	2	3	4	2	3	3	
CD－Ⅰ型 ポンプ車	17	－	－	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	－	1	1	
非 常 用 ポンプ車	6	－	－	1	－	－	1	－	1	－	－	1	－	－	1	－	－	－	1	－	－	
高 規 格 救 急 車	17	－	－	1	－	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
非 常 用 救 急 車	6	－	－	1	1	－	－	－	1	1	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	1	
救助工作車 Ⅲ 型	3	－	－	1	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	
Ⅲ 型 化 学 車	2	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	
3 8 m級 梯 子 車	3	－	－	－	－	－	1	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	
1 5 m級 梯 子 車	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	
遠距離大量 送排水車	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	1	－	－	－	－	－	－	
水 槽 車	2	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	
可搬ポンプ 積 載 車	3	－	－	1	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	
指 揮 車	4	1	－	1	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	
指揮支援車	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
調 査 車	2	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
支 援 車 Ⅰ 型	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
支 援 車 Ⅱ 型	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
そ の 他	42	18	－	5	－	1	1	1	5	－	1	－	1	1	6	－	1	1	－	－	－	

※ その他には、査察車、広報車、事務連絡車、地震車等が含まれます。

平成 29 年度は、救助工作車 1 台、消防ポンプ車 1 台、高規格救急車 1 台の計 3 台の車両更新を行いました。



救助工作車



消防ポンプ自動車



高規格救急車

8 防 火 対 象 物

(1) 防火対象物

防火対象物とは、消防法第1条の目的を遂行するために、消防法に一定の基準を定め、特定防火対象物（不特定多数の者が出入する施設。例えば、百貨店・病院・ホテル等）と非特定防火対象物（特定の者しか出入しない施設。例えば、学校・事務所）に大別され、それぞれの規模等により消防設備等（消火器・自動火災報知設備等）の設置や防火管理者が必要な建物です。

管内防火対象物の事業所数

市・署別 防火対象物区分			組合 合計	枚 方 市			寝屋川市
				市 計	枚 方 署	枚 方 東 署	寝 屋 川 署
総 数			11,333	6,533	3,682	2,851	4,800
1	イ	劇場・映画館・演芸場・観覧場	2	1	1	-	1
	ロ	公会堂・集会場	251	161	80	81	90
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等	0	0	-	-	-
	ロ	遊技場・ダンスホール	38	16	12	4	22
	ハ	風営法に規定する店舗その他これに類するもの	0	0	-	-	-
	ニ	カラオケボックス等	4	2	2	-	2
3	イ	待合・料理店等	1	1	1	-	-
	ロ	飲食店	229	138	82	56	91
4		百貨店・マーケット等	511	313	151	162	198
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所その他これらに類するもの	25	14	6	8	11
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	4,732	2,720	1,688	1,032	2,012
6	イ	病院・診療所・助産所	200	128	75	53	72
	ロ	老人短期入所施設・養護老人ホーム等	204	127	70	57	77
	ハ	老人デイサービスセンター・軽費老人ホーム等	308	182	100	82	126
	ニ	幼稚園・特別支援学校	33	19	7	12	14
7		小学校・中学校・高等学校・大学・各種学校等	138	91	50	41	47
8		図書館・博物館・美術館等	5	5	4	1	-
9	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場・熱気浴場等	0	0	-	-	-
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	20	4	3	1	16
10		車両の停車場・船舶・航空機の発着場	12	9	5	4	3
11		神社・寺院・教会等	140	83	45	38	57
12	イ	工場・作業場	879	472	151	321	407
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ	0	0	-	-	-
13	イ	自動車車庫・駐車場	59	24	13	11	35
	ロ	飛行機・回転翼航空機の格納庫	1	1	1	-	-
14		倉庫	395	203	72	131	192
15		前各項に該当しない事業所	904	540	324	216	364
16	イ	特定防火対象物が存する複合用途防火対象物	1,331	792	444	348	539
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	902	480	294	186	422
16の2		地下街	0	0	-	-	-
16の3		準地下街	0	0	-	-	-
17		重要文化財・重要有形民俗文化財等	7	7	1	6	-
18		延長50メートル以上のアーケード	2	0	-	-	2
19		市町村長の指定する山林	0	0	-	-	-
20		総務省令で定める舟車	0	0	-	-	-

(2) 消防同意

消防同意は、建築物の設計段階から防火面に関与し、必要に応じ現地調査を実施し、建築物の位置、構造及び設備のほか、防火に関する安全性の確保を図ることを目的としています。

平成 29 年中の消防同意件数

市 別 区 分		総 数	防 火 対 象 物			一 般 住 宅 等		
			小 計	枚方市	寝屋川市	小 計	枚方市	寝屋川市
総 数		1,852	363	222	141	1,489	889	600
工 事 別	1,764	277	176	101	1,487	887	600	681
	83	82	42	40	1	1	—	—
	3	3	3	—	0	—	—	—
	2	1	1	—	1	1	—	1

※ その他には改築、修繕、移転、模様替等の件数が含まれます。

(3) 住宅防火診断

各家庭に対し火気使用設備の使用実態、消火器等の住宅用防災機器等の設置状況等を診断し居住者の防火意識の高揚を図り、住宅の防火を推進することを目的に住宅防火診断を実施しています。

住宅防火診断実施状況

年度 署別	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
総 数	2,840	3,217	3,451	2,922
枚 方 署	897	1,020	953	901
枚方東署	1,033	1,100	1,368	981
寝屋川署	910	1,097	1,130	1,040

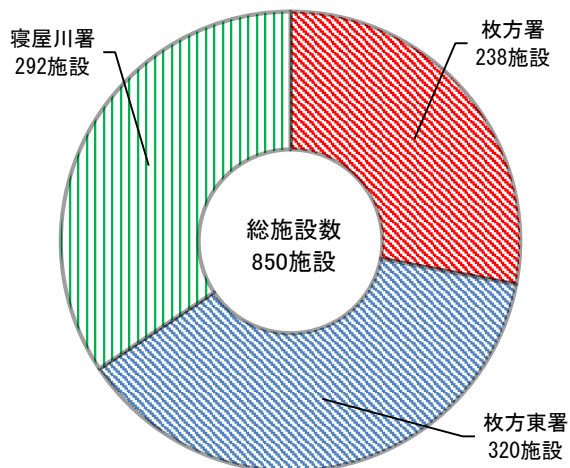
9 危 険 物

危険物規制事務は、主に危険物施設の許認可申請に係る事務とそれに伴う検査や各種届出事務及び危険物の取扱いに関する指導を行っています。

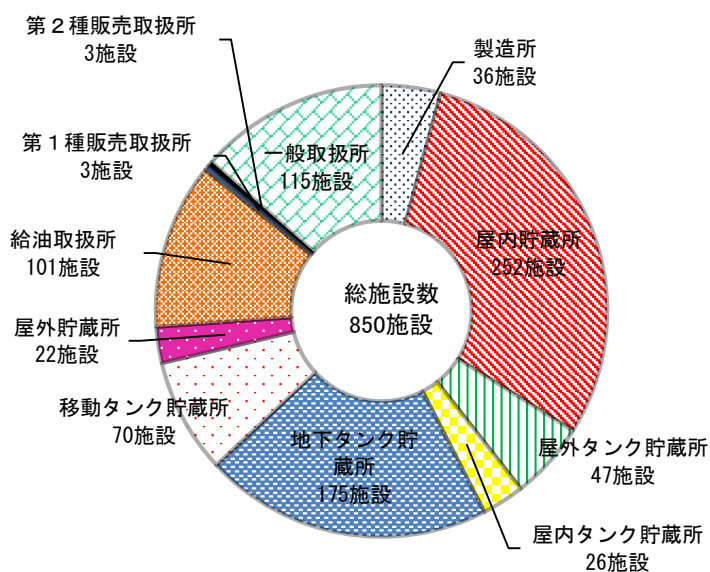
あらゆる生活分野に深く浸透している石油製品に代表されるように、危険物は現代社会生活に欠かすことのできない大きな貢献をしている反面、ひとたび取扱いを誤れば、火災や爆発等の甚大な災害を引き起こす潜在的な危険性を有しています。

これらの危険物に起因する事故や災害を未然に防止し、市民生活の安全を確保するため、厳正な法令等の執行とともに、事業所の地域社会との協力関係の強化等を含めた自主保安管理体制の確立と関係者の防災意識の向上に努めることが重要です。

管轄署所施設別



区分別施設数



許認可事務処理状況

区 分 署 別	総 数	製造所等															仮 貯 蔵 ・ 仮 取 扱		
		許 可		完成検査		仮 使用 承認 申請	完 成 検 査 前 検 査	再 交 付 検 査 済 証 等	廃 止 届	譲 渡 引 渡 届	品 名 数 量 又 は 指 定 数 量 の 倍 数 変 更 届	軽 微 な 変 更 届	選 任 ・ 解 任 届	危 険 物 保 安 監 督	予 防 規 程 認 可 申 請	作 業 従 事 者 届		危 険 物 取 扱 届	そ の 他
		設 置 許 可	変 更 許 可	設 置 許 可	変 更 許 可														
総 数	1,599	18	195	15	183	184	26	3	43	11	21	259	133	7	43	446	12		
枚 方 署	724	15	70	6	66	64	-	-	7	4	3	159	36	3	20	263	8		
枚 方 東 署	419	2	61	4	60	58	10	-	14	3	13	40	35	3	9	103	4		
寝 屋 川 署	456	1	64	5	57	62	16	3	22	4	5	60	62	1	14	80	-		

※ その他には、危険物仮貯蔵・仮取扱承認申請、危険物製造所等の氏名、名称、住所変更届、危険物製造所等における火気使用工事届等の事務処理状況が含まれます。

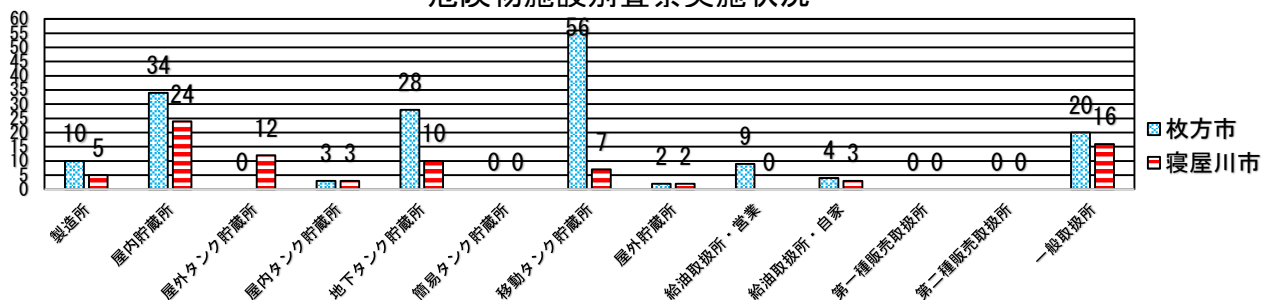
10 査 察

査察とは、火災を未然に防止し、火災による被害の軽減を図るため、当該防火対象物及び危険物施設への立入検査を行い、火災予防上の不備事項を指摘し、関係者に対して必要な指示、指導を積極的に行うものです。

用途別査察実施状況

防火対象物区分		市 別	組合合計	枚方市	寝屋川市
総 数			2,293	1,242	1,051
1	イ	劇場・映画館・演芸場・観覧場	2	-	2
	ロ	公会堂・集会場	33	24	9
2	イ	キャバレー・カフェ・ナイトクラブ等	0	-	-
	ロ	遊技場・ダンスホール	2	2	-
	ハ	風営法に規定する店舗その他これらに類するもの	0	-	-
	ニ	カラオケボックス等	0	-	-
3	イ	待合・料理店等	1	1	-
	ロ	飲食店	54	40	14
4		百貨店・マーケット等	112	78	34
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所その他これらに類するもの	6	6	-
	ロ	寄宿舍・下宿・共同住宅	1,012	419	593
6	イ	病院・診療所・助産所	43	26	17
	ロ	老人短期入所施設・養護老人ホーム等	98	65	33
	ハ	老人デイサービスセンター・軽費老人ホーム等	106	71	35
	ニ	幼稚園・特別支援学校等	3	3	-
7		小学校・中学校・高等学校・大学・各種学校等	57	46	11
8		図書館・博物館・美術館等	1	1	-
9	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場・熱気浴場等	0	-	-
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	1	-	1
10		車両の停車場・船舶・航空機の発着場	1	1	-
11		神社・寺院・教会等	9	6	3
12	イ	工場・作業場	136	90	46
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ	0	-	-
13	イ	自動車車庫・駐車場	3	1	2
	ロ	飛行機・回転翼航空機の格納庫	0	-	-
14		倉庫	53	29	24
15		前各項に該当しない事業所	63	34	29
16	イ	特定防火対象物が存する複合用途防火対象物	369	236	133
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	84	34	50
16の2		地下街	0	-	-
16の3		準地下街	0	-	-
17		重要文化財・重要有形民俗文化財等	4	4	-
18		延長50メートル以上のアーケード	0	-	-
19		市町村町長の指定する山林	0	-	-
20		総務省令で定める舟車	0	-	-
*		その他	40	25	15

危険物施設別査察実施状況



11 1 1 9 番 等 通 報

(1) 119番通報受信状況

枚方市及び寝屋川市における総受信件数は60,741件（1日平均約166件）で、これは市民約11人に1人が119番等の通報をしたこととなります。

受信件数の内訳は火災通報215件（0.4%）、救急通報34,596件（57.0%）となっており両通報で全体の約57%を占めています。

医療機関の問い合わせ件数は4,273件（7.0%）で、引き続き、救急安心センターおおさか（＃7119）や大阪府救急医療情報センター（06-6693-1199）を活用し、119番通報での医療問い合わせを減らしていきたいと考えています。

また、緊急性のないものや、いたずら・間違いなどの通報が6,338件（10.4%）もあり、実際の火災・救急通報の受信に支障を来すことも予想されることから、今後も、防火指導、救急講習等の広報活動を通じ「正しい119番の使用法」を啓発していく必要があります。

回線別の受信件数は固定電話の119番受信が12,802件で、IP電話の14,200件を含めると27,002件（44.5%）で約半数を占め、加入電話が440件、警察電話が2,504件、その他が1,908件となっています。

携帯電話の受信件数は22,745件（37.4%）で、他市消防本部からの携帯電話の転送を含めると23,563件（38.8%）となります。

通信受信状況

種別 内訳	総数	119受信	加入電話	警察電話	緊急通報	携帯電話	転送受信	その他	IP電話
総数	60,741	12,802	440	2,504	5,324	22,745	818	1,908	14,200
火災	215	30	14	27	0	104	2	3	35
救急	34,596	6,243	209	1,501	801	14,513	587	222	10,520
救助	180	18	9	62	1	73	2	0	15
火災問合せ	72	6	5	31	0	19	0	1	10
救急問合せ	605	72	5	132	6	250	11	2	127
その他	861	97	120	153	0	350	8	41	92
間違い	3,552	659	15	42	1,230	1,191	64	20	331
試験	3,221	81	0	0	2,919	80	2	48	91
悪戯	2,786	1,955	1	1	103	643	3	6	74
医療問合せ	4,273	375	2	10	10	2,513	10	4	1,349
転送	565	3	0	1	1	543	12	0	5
上記以外	9,815	3,263	60	544	253	2,466	117	1,561	1,551

※ 上記以外には、訓練通報や各種通報装置からの通報試験等の状況が含まれます。

(2) 緊急通報システム

緊急通報システムからの通報は5,324件（8.8%）あり、聴覚障害者及び音声言語機能障害者の方々からのネット119は1件（登録者数67人）、緊急FAX、eメール119（登録者数131人）による通報はありませんでした。

緊急通報システムの設置件数及び通報状況

種別 市別	緊急通報システム 設置件数	通報総数	出動件数
総数	4,317	2,403	796
枚方市	3,328	1,926	604
寝屋川市	989	477	192

(1) 消防隊の活動状況

平成 29 年中の消防隊等が活動した事故件数は 2,793 件、出動車両台数は 6,346 台でした。これは、1 日当りの平均災害発生件数が約 7.7 件で、1 件の災害に対して平均 2.3 台の消防車両が出動したことになります。

火災件数 170 件のうち、建物火災が 103 件と最も多く、火災出動件数の約 60.6%を占めています。

消防隊は、火災やその他の消防事故の災害現場にいち早く到着し、日頃の訓練で習得した技術や知識を十二分に発揮し、的確な消防活動を行うことにより、人命危険の排除及び被害の軽減を図っています。

消防隊の火災出動件数

火 災 件 数	火 災 出 動 件 数										
	放水別		事 後 聞 知	出 動 別				種 別			
	放 水	未 放 水		第 1 出 動	第 2 出 動	第 3 出 動	特 命 出 動	建 物	車 両	林 野	そ の 他
170	54	116	18	132	26	1	9	2	103	19	-

災害分類・種別活動状況

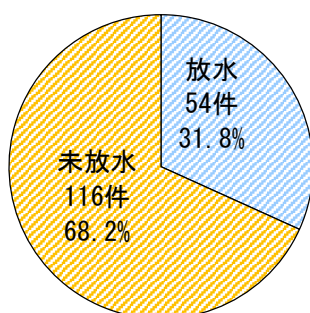
区 分	事故件数	出動台数	出動人員	活動時間
総 数	2,793	6,346	23,164	4,548:05
火 災 小 計	170	1,034	3,482	1,099:50
建物火災	103	806	2,750	903:10
林野火災	-	-	-	-
車両火災	19	73	232	66:52
その他の火災	48	155	500	129:48
焼 損 事 故	51	219	729	136:33
そ の 他 消 防 事 故	2,572	5,093	18,953	3,311:42

消防署別活動状況

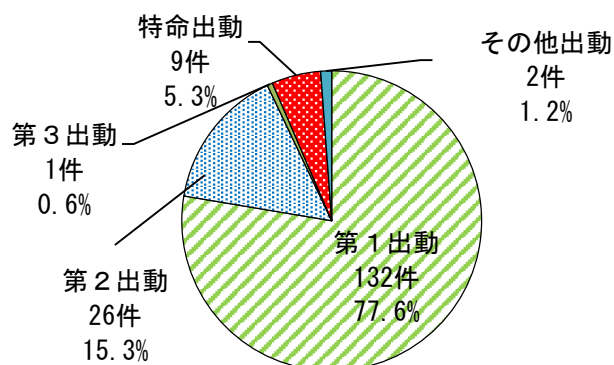
区 分	事故件数	出動台数	出動人員	活動時間
枚 方 署	923	2,190	7,961	1,602:37
枚 方 東 署	785	1,752	6,437	1,236:31
寝 屋 川 署	1,079	2,377	8,679	1,686:29
管 轄 外	6	27	87	22:28

- ・活動時間については、出動から現場引き揚げ迄の時間です。
- ・活動隊については、救急隊を除く数字です。

放水件数比



出動別



(2) 消防水利

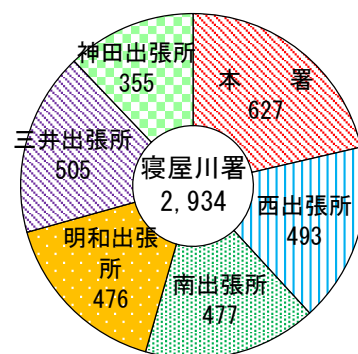
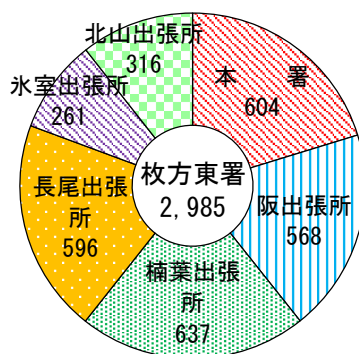
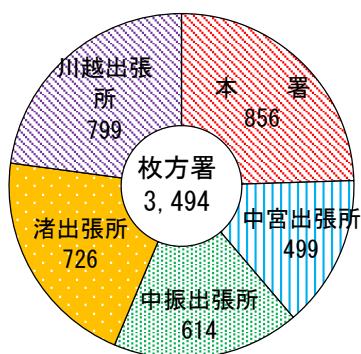
本消防組合管内の消防水利の大部分は、人工水利の消火栓(98%)が占めています。

消火栓は簡易に使用でき、連続的に給水しますが、水道配管路に設置されているため、配管口径による給水量の制約、断・減水時の使用不能等の弱点があります。これをカバーするために、開発行為の機会をとらえ、防火水槽の設置を要請するなど、消防水利の確保に努めています。

区分 署別	総 数	消火栓			防火水槽 (㎡)			その他の水利			
		小計	公設	私設	小計	公設	私設	小計	プール	河川池	その他
総 数	10,349	9,413	8,977	436	597	116	481	339	128	147	64
枚 方 署	3,819	3,494	3,338	156	230	28	202	95	47	13	35
枚 方 東 署	3,333	2,985	2,901	84	200	48	152	148	35	108	5
寝 屋 川 署	3,197	2,934	2,738	196	167	40	127	96	46	26	24

※ 防火水槽寸法（容量）が 20 m³未満のものは含みません。

署所別の消火栓設置状況



13 火 災 概 況

(1) 火災概況

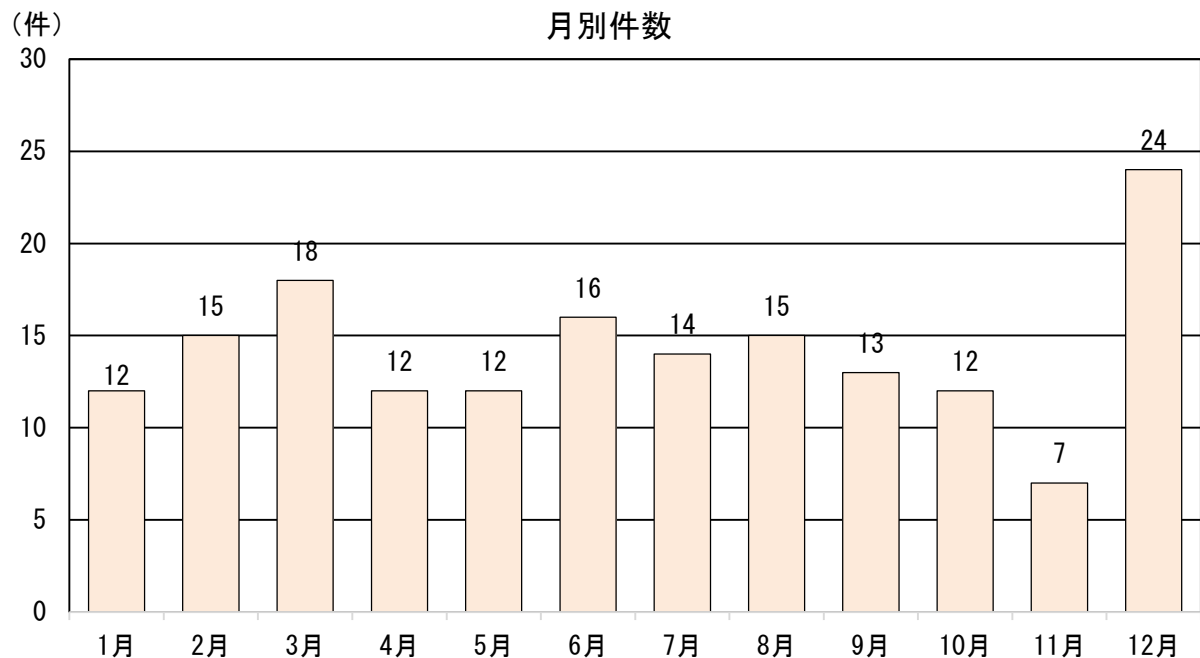
平成 29 年中における火災件数は 170 件で、前年と比べ 2 件増加しています。

市別でみますと、枚方市は 114 件（枚方署 67 件・枚方東署 47 件）で前年より 8 件（7.5%）増加し、寝屋川市は 56 件で前年より 6 件（9.7%）減少しています。

区 分 署 別	火災種別（事後聞知含む）							焼損棟数					爆 発 棟 数	り災世帯数			
	火災 件数	うち 爆発	建 物	林 野	車 両	その他		合 計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や		合 計	全 損	半 損	小 損
						枯 草 等	そ の 他										
総 数	170	0	103	0	19	20	28	115	4	2	22	87	0	106	11	4	91
枚 方 署	67	－	41	－	6	9	11	42	1	2	10	29	－	39	2	3	34
枚 方 東 署	47	－	25	－	9	5	8	28	1	－	1	26	－	20	4	－	16
寝 屋 川 署	56	－	37	－	4	6	9	45	2	－	11	32	－	47	5	1	41

(2) 月別火災件数

出火件数を月別でみますと、最多出火月は 12 月の 24 件（14.1%）、次いで 3 月の 18 件（10.6%）、6 月の 16 件（9.4%）と続いており、最少出火月は 11 月の 7 件（4.1%）となっています。



(3) 死傷者・損害状況

火災による死者数は、2人（枚方市1人、寝屋川市1人）で前年より2人減少となっています。

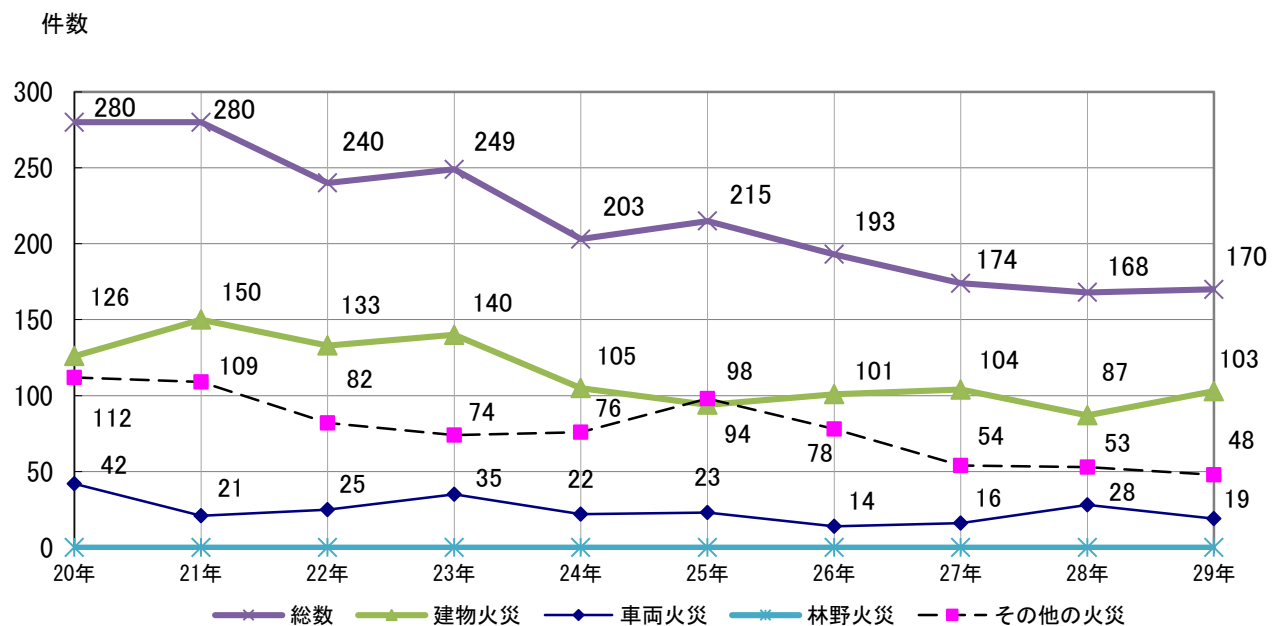
火災による負傷者数は、37人（枚方市30人、寝屋川市7人）で前年より20人（枚方市で18人増加、寝屋川市で2人増加）増加しています。

区分 署別	り 災 人 員	死 者	負 傷 者	損 害 額 （千円）	焼損面積		1ヶ月当たり					
					建物床 （㎡）	林野 （a）	火災件数 （件）	（建物火災件数 件）	焼損棟数 （棟）	死者数 （人）	（建物焼損床面積 ㎡）	損害額 （千円）
総 数	260	2	37	63,711	891	0.0	14.2	7.3	9.6	0.2	74.3	5,309
枚 方 署	97	1	16	22,513	386	－	5.6	2.3	3.5	0.1	32.2	1,876
枚 方 東 署	57	－	14	21,852	293	－	3.9	2.1	2.3	－	24.4	1,821
寝 屋 川 署	106	1	7	19,346	212	－	5.2	2.9	3.8	0.1	17.7	1,612

(4) 過去 10 年間の火災発生状況

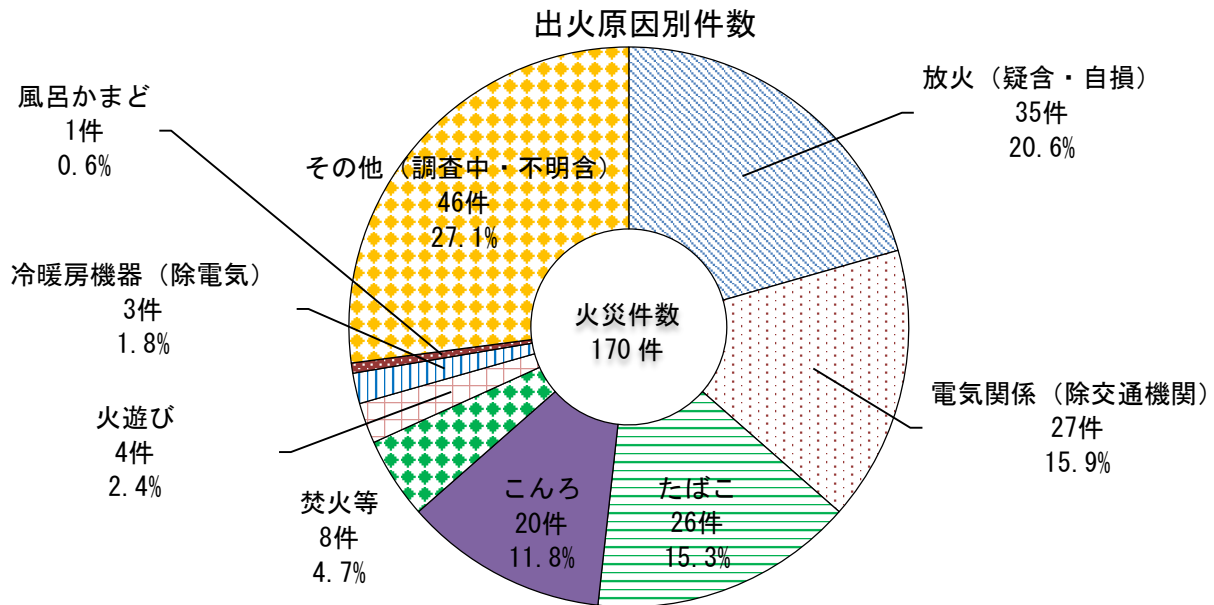
過去 10 年間の本消防組合管内における火災件数は、平成 20 年及び平成 21 年の 280 件がピークで、ここ数年減少傾向にあります。

平成 29 年の火災件数は 170 件（前年比 2 件増加）、内訳は建物火災件数 19 件（前年比 16 件増加）、車両火災 19 件（前年比 9 件減少）、その他火災 48 件（前年比 5 件減少）となっています。



(5) 出火原因

主な出火原因としては、「放火（疑含・自損）」が 35 件（20.6%）、「電気関係（除交通機関）」が 27 件（15.9%）、「たばこ」26 件（15.3%）、「こんろ」20 件（11.8%）、「焚火等」8 件（4.7%）の順となっています。

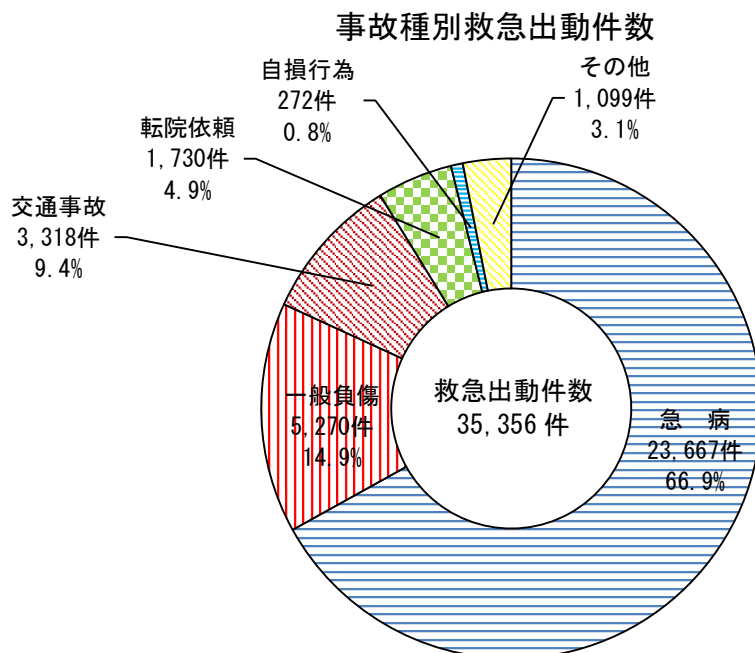


原 因 \ 年	20 年	21 年	22 年	23 年	24 年	25 年	26 年	27 年	28 年	29 年
総 数	280	280	240	249	203	215	193	174	168	170
放 火（疑い・自損含）	136	119	93	90	79	89	75	55	43	35
電気関係（除交通機関）	15	18	19	18	10	15	18	17	22	27
た ば こ	26	29	26	23	22	27	17	26	18	26
こ ん ろ	24	32	24	27	22	23	20	22	16	20
焚 火 等	10	11	9	12	6	9	7	4	9	8
火 遊 び	11	12	8	14	9	11	12	3	5	4
冷暖房機器（除電気）	7	8	3	7	5	7	5	6	5	3
風 呂 か ま ど	-	3	1	-	-	2	1	-	-	1
その他（調査中・不明含）	51	48	57	58	50	32	38	41	50	46

※ その他には、静電気、衝突の火花、排気ダクト等が含まれます。

(1) 救急概況

救急出動件数及び搬送人員を事故種別ごとにみると、第1位が急病、第2位が一般負傷、第3位が交通事故、以下、転院依頼、自損行為の順となっています。



(2) 救急搬送状況

平成29年中の救急活動状況をみると、出動件数35,356件・搬送人員31,787人で、前年に比べ出動件数が1,779件(5.30%)、搬送人員が1,607人(5.32%)増加しました。消防組合全体では、1日平均約96.9件で、1時間に4.0件の割合で出動したことになり、救急隊1隊あたりの1日の出動は平均して5.7件でした。

事故種別救急出動件数及び搬送人員

事故種別		総数	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害事故	自損行為	急病	転院搬送	医師搬送	資材搬送	その他
区分	出動件数	35,356	111	0	23	3,318	168	177	5,270	216	272	23,667	1,730	271	0	133
	搬送人員	31,787	26	0	6	3,217	164	175	4,814	166	193	21,255	1,729	0	0	42
枚方署	出動件数	10,869	41	0	12	965	38	46	1,624	71	85	7,265	594	87	0	41
	搬送人員	9,728	14	0	2	927	37	47	1,463	56	60	6,516	594	0	0	12
枚方東署	出動件数	10,601	35	0	4	975	58	66	1,618	58	82	7,008	558	92	0	47
	搬送人員	9,469	10	0	2	937	58	64	1,471	45	58	6,250	557	0	0	17
寝屋川署	出動件数	13,886	35	0	7	1,378	72	65	2,028	87	105	9,394	578	92	0	45
	搬送人員	12,590	2	0	2	1,353	69	64	1,880	65	75	8,489	578	0	0	13

組 合

区分	月平均	日平均	時間平均
出動件数	2946.3件	96.9件	4.0件
搬送人員	2648.9人	87.1人	3.6人

1隊あたり

区分	月平均	日平均	時間平均
出動件数	173.3件	5.7件	0.2件
搬送人員	155.8件	5.1件	0.2件

(3) 救命率の向上

平成 29 年中の搬送人員 31,787 人のうち、応急処置の対象となった傷病者は、31,697 人で全体の 99.7%でした。

応急処置の実施状況を事故種別ごとにみると、交通事故、急病、一般負傷については、「その他応急処置」が多くなっています。

平成 29 年中の枚方寝屋川消防組合応急手当の普及啓発活動に関する要綱に基づく救命講習の実施回数は 246 回で受講者数が 10,533 人、うち、普及員が実施した人数は 6,708 人でした。

普及啓発用資器材の状況は、蘇生訓練用人形の成人用、小児用、乳児用及び A E D トレーナーを常備しており、応急手当の普及に寄与しています。その他、各署に高度救急処置シミュレーター等を整備し、指導技術の向上を図っています。

救命講習会実施回数及び受講者数（署別）

署別	区分	実施回数	対象人員
総	数	246 回	10,533 人
枚方署（本部含）		144 回	7,945 人
枚 方 東 署		44 回	1,085 人
寝 屋 川 署		58 回	1,503 人

講習会別実施回数及び受講者数

講習会名	平成 29 年中	
PUSH～いのちの授業	71 回	6,345 人
普通救命講習会	52 回	1,110 人
救命入門コース	65 回	1,760 人
普及員講習会	4 回	86 人
普及員再講習会	4 回	117 人
上級救命講習会	2 回	56 人
応急手当指導員講習会	21 回	37 人

上記のうち普及員実施分

署別	区分	実施回数	対象人員
総	数	233 回	6,708 人
枚方署（本部含）		88 回	2,589 人
枚 方 東 署		33 回	1,166 人
寝 屋 川 署		112 回	2,953 人

一般市民が救急車到着までに実施した主な応急処置数

処置別 市別	人工呼吸	胸骨圧迫	除細動	心肺蘇生	止 血
総 計	8	124	8	8	36
枚 方 市	7	68	3	5	23
寝 屋 川 市	1	56	5	3	13

(4) 「救急安心センターおおさか」

本消防組合では、大阪市の事業として平成 21 年 10 月から運用されている「救急安心センターおおさか」に平成 22 年 4 月から府下 13 消防本部とともに参画し、平成 23 年 4 からは府下全消防本部が参画しています。

	枚方市	寝屋川市
総 数	7,389	5,019
救急車の必要があったもの	131	90
医 療 相 談	3,335	2,293
応 急 手 当 指 導	1	-
医 療 機 関 問 合 せ	3,866	2,501
苦 情	-	-
誤 接	1	-
い た ず ら	-	-
そ の 他	186	112

※ その他には、各種相談や問い合わせ等が含まれます。

(5) ドクターカー事業

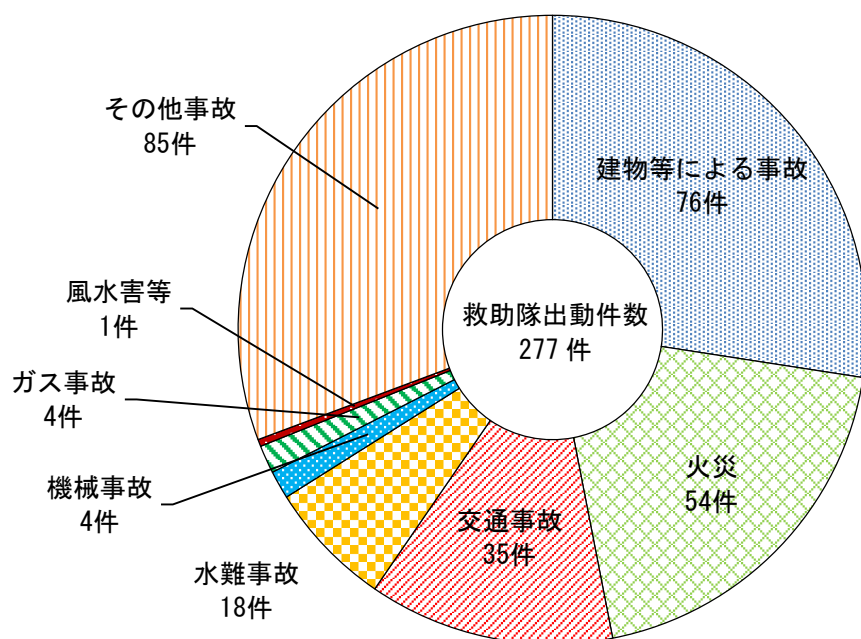
高齢化の急速な進展などにより、救急件数は増加傾向にあり、また、救急搬送で病院到着までに時間がかかる現状です。今後も高齢化が一段と進む中、救急出動件数は、更に増加することが予想されます。こうした背景に伴い、救急医療体制を一層充実させ、救命処置等を必要とする傷病者が発生した救急現場に一刻も早く医師が出場して医療行為を行うことにより、地域住民の救命率及び社会復帰率の向上並びに処置後の良好な改善を図ることを目的として、関西医科大学附属病院 高度救命救急センターと連携し、平成 29 年 4 月からドクターカーの運用を実施しています。

	枚方市	寝屋川市	管外
ドクターカー出動件数	168	74	29

※ 平成 29 年 4 月 3 日～平成 29 年 12 月 31 日

平成 29 年中に救助隊が出動した事故件数は 277 件、活動件数 263 件であり、前年と比較すると事故件数は 40 件（16.9%）増加し、活動件数は 43 件（19.5%）増加しています。また、救助人員は 186 人であり、前年の 73 人に比較すると 113 人（154.8%）増加しています。

救助事故種別件数



救助人員内訳

総 数	死 亡	重 症	中等症	軽 症	その他
186 人	24	10	37	75	40

事故種別活動状況

区 分 市 別	総 数	火 災	救 助 事 故							
			交 通	水 難	自 然	機 械	建 物	ガ ス	破 裂	そ の 他
総 数	277	56	35	18	1	4	76	4	－	83
枚 方 市	181	35	21	11	1	2	56	1	－	54
寝 屋 川 市	89	21	10	5	－	2	20	3	－	28
管 外	7	－	4	2	－	－	－	－	－	1

16 消 防 団 の 概 況

区 分 市別・分団別		消 防 団 員								消 防 機 械			
		総 数	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	総 数	ポン プ 車	小型動力ポンプ積載車	小型動力ポンプ
総 数		860	2	9	17	17	31	82	702	83	2	74	7
枚 方 市	小 計	472	1	6	11	11	31	49	363	51	1	43	7
	本部事務局	7	1	6	-	-	-	-	-	1	-	1	-
	枚方分団	25	-	-	1	1	3	4	16	2	1	1	-
	蹠跚分団	31	-	-	1	1	3	4	22	4	-	4	-
	川越分団	40	-	-	1	1	3	4	31	4	-	4	-
	山田分団	49	-	-	1	1	3	7	37	7	-	7	-
	殿一分団	38	-	-	1	1	3	8	25	5	-	5	-
	殿二分団	55	-	-	1	1	3	6	44	4	-	4	-
	樟葉分団	42	-	-	1	1	3	4	33	4	-	4	-
	津田分団	56	-	-	1	1	3	4	47	6	-	4	2
	菅原分団	58	-	-	1	1	3	3	50	7	-	5	2
	氷室分団	52	-	-	1	1	3	3	44	6	-	3	3
	女性分団	19	-	-	1	1	1	2	14	1	-	1	-
寝 屋 川 市	小 計	388	1	3	6	6	0	33	339	32	1	31	0
	団本部	16	1	3	-	-	-	1	11	0	-	-	-
	第 1 南分団	58	-	-	1	1	-	6	50	6	-	6	-
	第 1 北分団	55	-	-	1	1	-	6	47	6	-	6	-
	第 2 分団	92	-	-	1	1	-	7	83	7	-	7	-
	第 3 分団	61	-	-	1	1	-	5	54	5	-	5	-
	第 4 分団	60	-	-	1	1	-	4	54	4	-	4	-
	第 5 分団	46	-	-	1	1	-	4	40	4	1	3	-

あなたに安心を届けたい！

枚方寝屋川消防組合ホームページ

<http://www.hnfd119.jp/>



イメージキャラクター「消太^{しょうた}・消子^{しょうこ}」

キャラクターイメージは、将来の防災の担い手である少年少女が力を合わせて放水している姿を市民に優しく親しみやすい図柄で表現しました。名前は火を消す少年を「消太くん」、少女を「消子ちゃん」と呼び、キャラクター名は「消太・消子」としています。

ひらね 1 1 9

(平成30年 刊行)

発行 枚方寝屋川消防組合消防本部

編集 総務部 総務管理課

枚方市新町1丁目7番11号

0 7 2 (8 5 2) 9 9 0 3

=====

=====

=====